

令和2年 伊勢市観光客実態調査 第1期速報【概要】

〈今回公表する調査結果〉

伊勢市観光客実態調査 令和2年度1期速報

〈目的〉

伊勢市を訪れる観光客の旅行目的、来訪手段、滞在種別（日帰り・宿泊）、立寄り箇所数、消費額、満足度など行動実態に関する調査を実施し、その特性、傾向等を分析することにより本市の観光の実態を明らかにし、本市の観光施策の効果的な推進を図る。

〈調査日〉

令和2年6月27日(土)、6月28日(日)

(例年第1期は3月に実施しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、時期を変更して実施。)

〈調査方法〉

本市内の調査地点を訪れた観光客を対象に、調査員による「対面聞き取り調査」を行いました。

〈調査地点〉

- ・外宮周辺（外宮前広場）
- ・内宮周辺（おかげ横丁）
- ・二見（二見浦公園駐車場）
- ・河崎（河崎商人館周辺）

〈調査対象〉

- ・調査地点を訪れた観光客を対象とします。（市民を除外しません。）
- ・外国人観光客は対象としません。

〈回収数〉

433 サンプル（うち市民 2 サンプル）

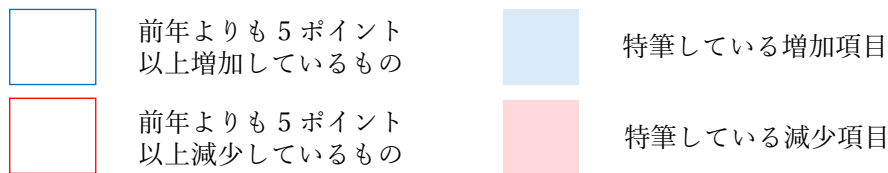
【参考】(H31/R1)	1期(3月)	: 363 サンプル（うち市民 23 サンプル）
	2期(7月・8月)	: 613 サンプル（うち市民 34 サンプル）
	3期(11月)	: 378 サンプル（うち市民 23 サンプル）
	4期(12月)	: 391 サンプル（うち市民 11 サンプル）

〈留意事項〉

- ・本資料の作成は、令和2年伊勢市観光客実態調査1期速報値を用いて行っています。
- ・端数調整により割合の合計が100%とならない場合があります。

令和2年 伊勢市観光客実態調査（1期）速報結果

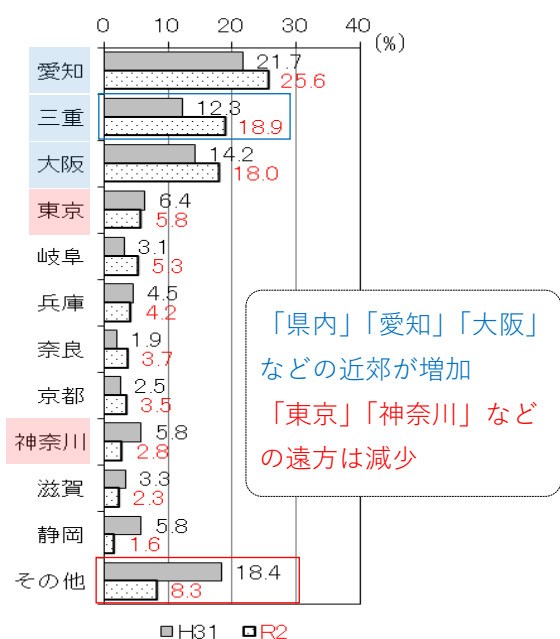
※調査自体は市民を含んで実施していますが、下記のグラフからは市民を除いています。



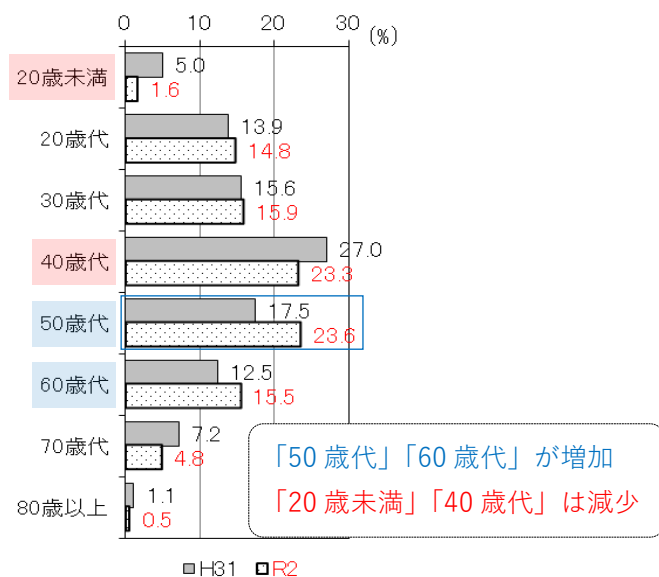
1. 観光客の属性

『県内・中部・近畿』で75%を占める / 『熟年層』が増加し、『未成年・中年層・老齢層』は減少 / 『2人以下の少数』での来訪が増加し、『大人数』での来訪が減少

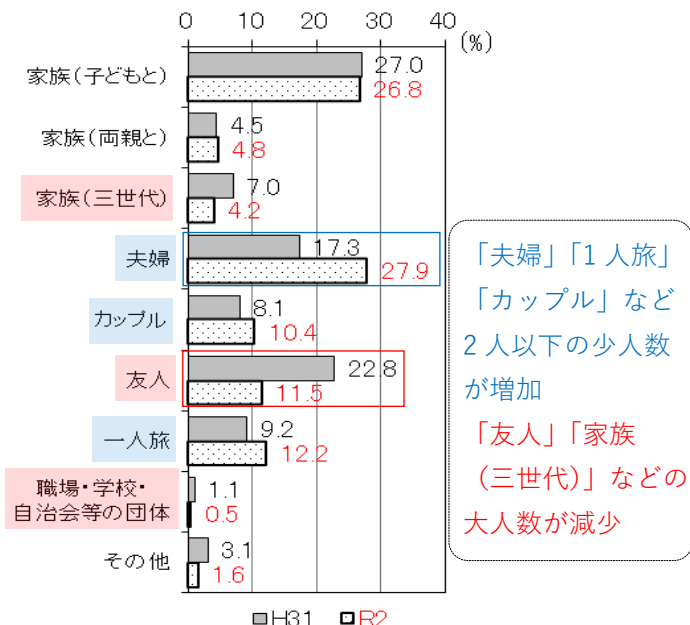
(1) 居住地（都道府県別）



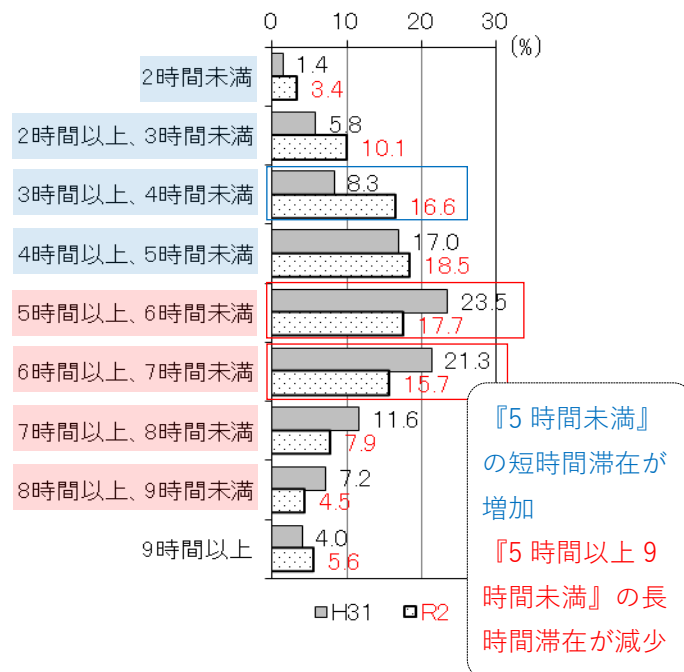
(2) 年齢



(3) 同行者の種類



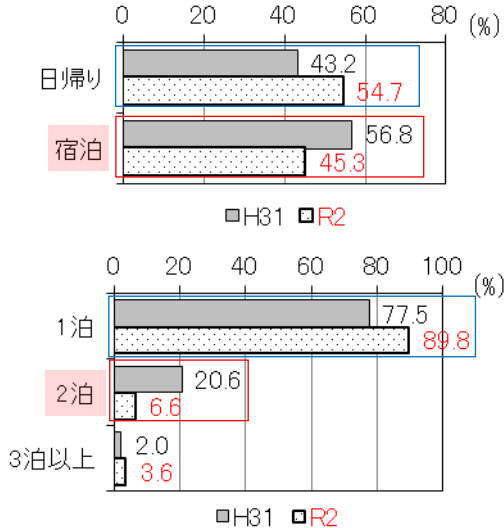
(4) 日帰り客の伊勢市の滞在時間



2. 旅行行程

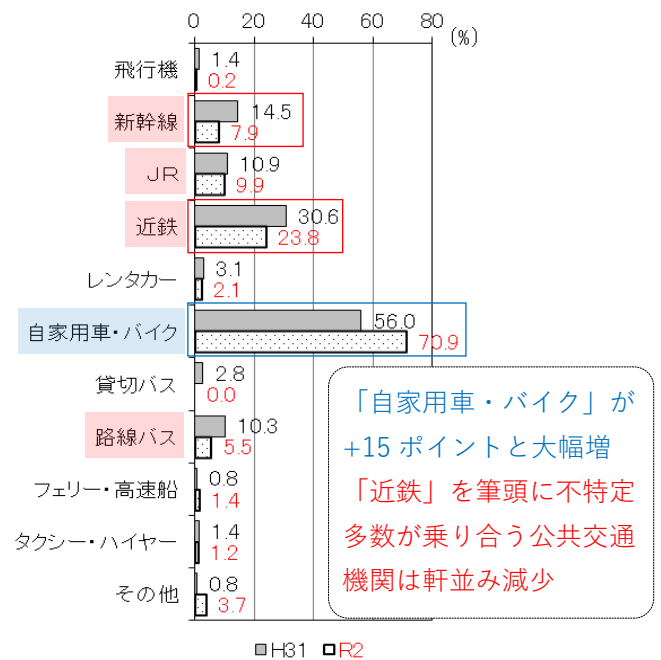
日帰り客の滞在時間、宿泊者数及び宿泊日数全て減少 / 不特定多数が利用する『公共交通機関』が軒並み減少し、「自家用車・バイク」が大幅増

(1) 宿泊の有無・宿泊数



「宿泊」が大幅減した上、泊数も『2泊以上』が大幅減するなど、滞在時間の減少が顕著

(2) 伊勢市へ来る（から帰る）際利用した交通機関

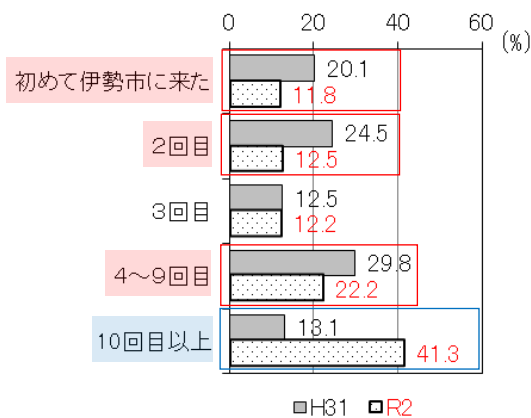


「自家用車・バイク」が+15ポイントと大幅増
「近鉄」を筆頭に不特定多数が乗り合う公共交通機関は軒並み減少

3. 伊勢市を選んだ理由

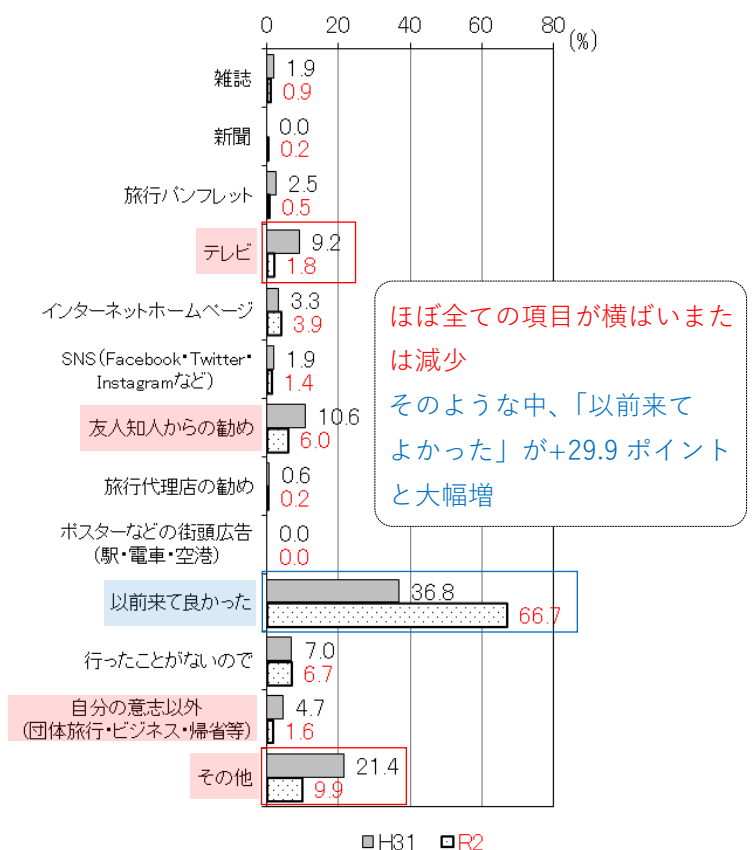
訪問歴の多いコアなリピーターが大幅増 / きっかけは「以前来て良かった」が60%超

(1) 訪問回数



『9回以下』は全て減少
一方、「10回以上」が+27.8ポイントと大幅に増加し、コアなリピーターが多く訪れた傾向が表れた

(2) 伊勢市を選んだきっかけ

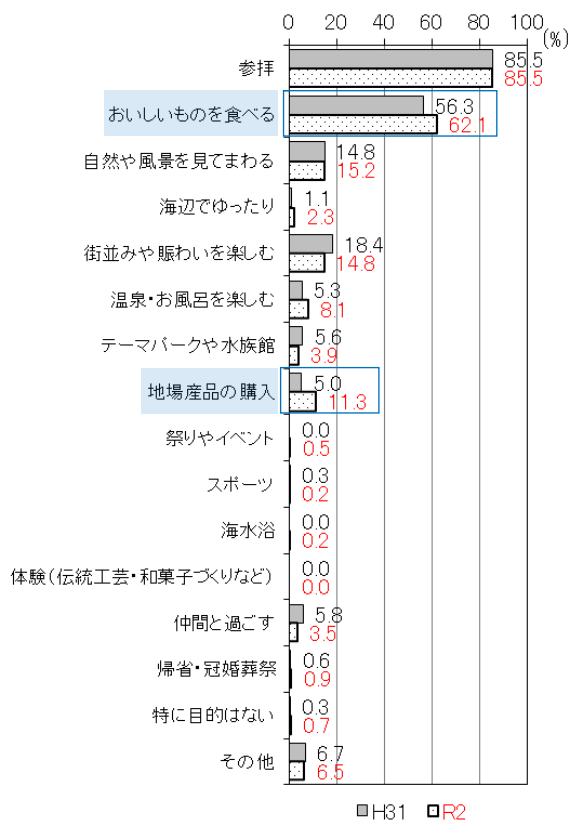


ほぼ全ての項目が横ばいまたは減少
そのような中、「以前来て良かった」が+29.9ポイントと大幅増

4. 観光目的地

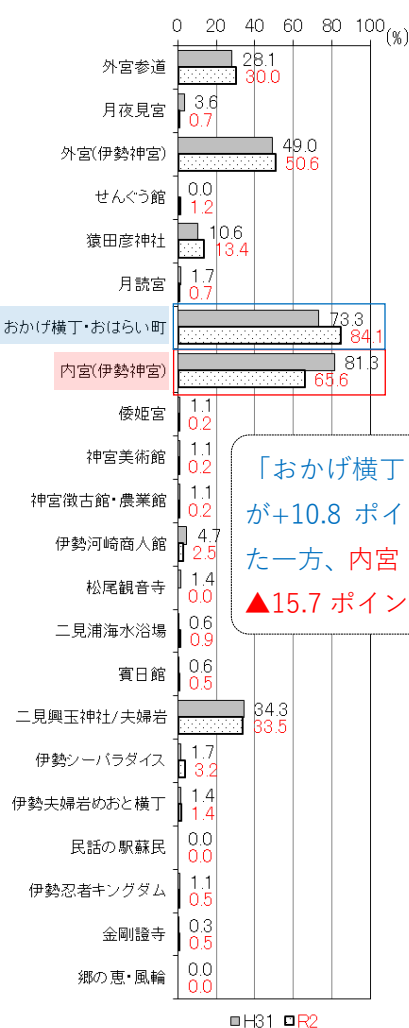
「おいしいものを食べる」「地場産品の購入目的」が増加

(1) 旅行目的



他の項目に比べて変化が乏しく、最も高いのは参拝で変わりなし
 その中で「おいしいものを食べる」「地場産品の購入」が大きく増加

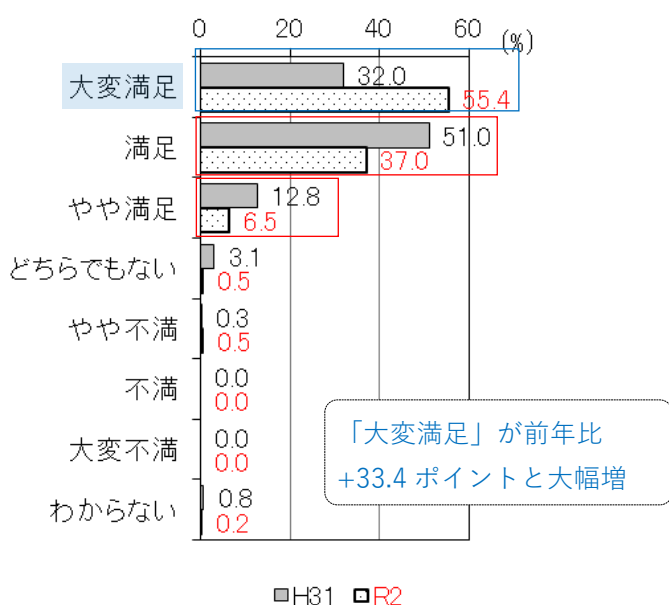
(2) 立ち寄った(予定の)観光地



「おかげ横丁・おはらい町」が+10.8ポイントと大幅増した一方、内宮(伊勢神宮)が、▲15.7ポイントと大幅減

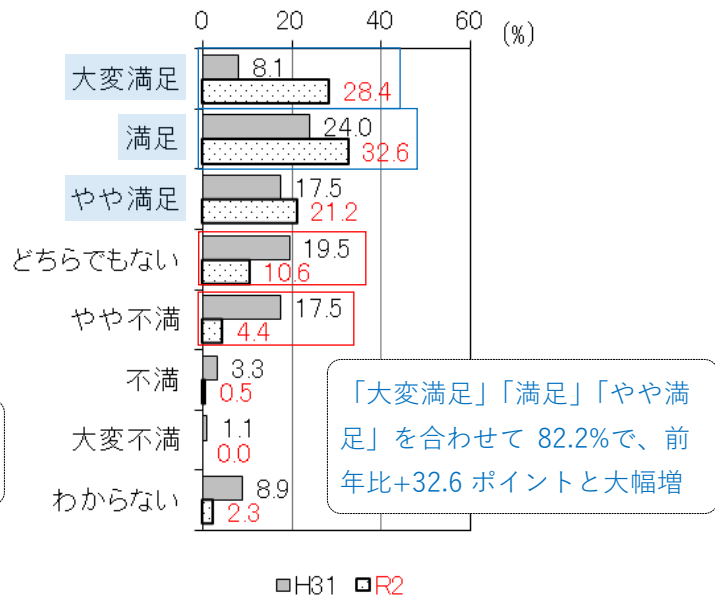
5. 本市観光の満足度 ほぼ全項目で満足度が改善 / 再訪意向は95%以上

(1) 景観・雰囲気への満足度



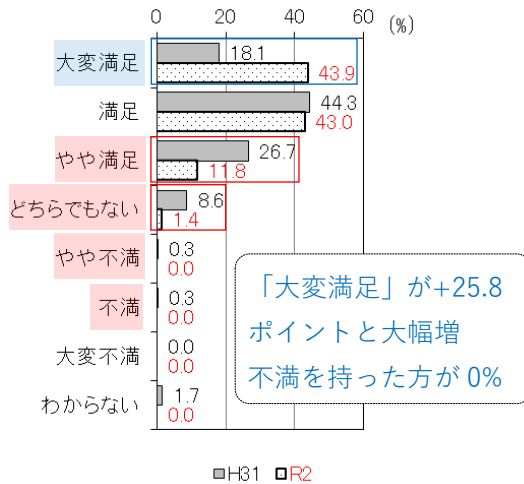
「大変満足」が前年比+33.4ポイントと大幅増

(2) 移動・交通への満足度

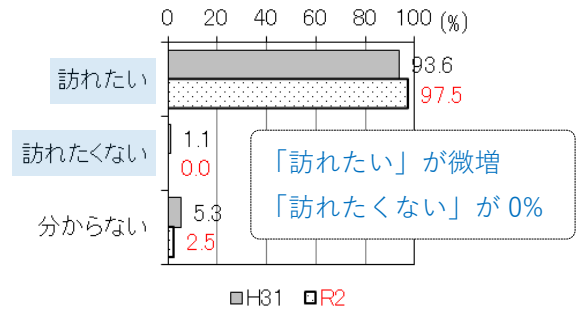


「大変満足」「満足」「やや満足」を合わせて82.2%で、前年比+32.6ポイントと大幅増

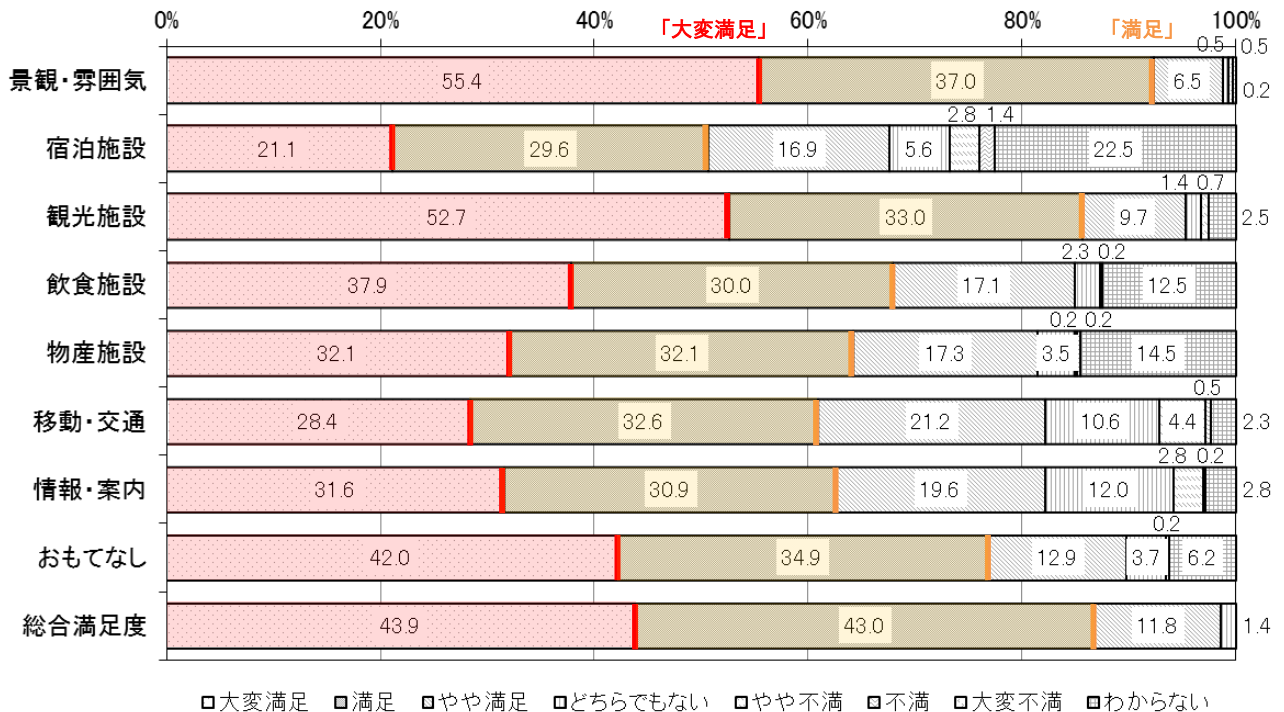
(3) 総合満足度



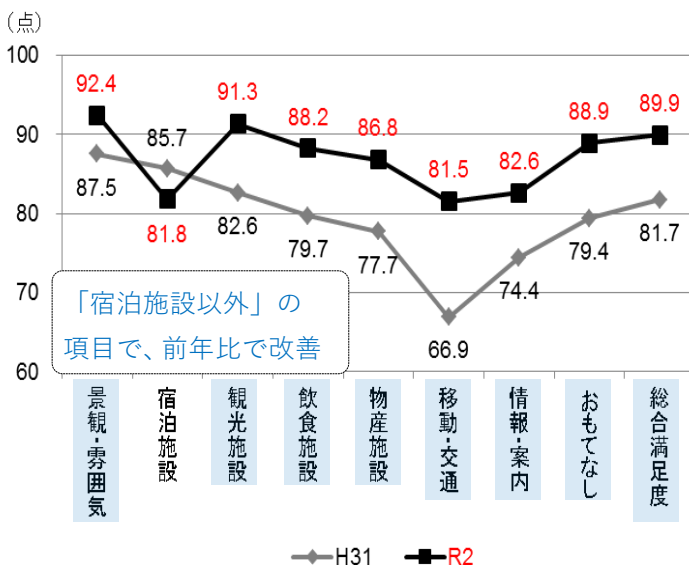
(4) 伊勢市の再訪意向



(5) 各項目の満足度の比較 (構成比)



(6) 各項目の満足度の比較 (点数)



掲載項目以外では、伊勢市内の宿泊日数が減少。
 宿泊施設も大人数での利用が多い旅館が減少し、少人数での利用が多いホテルが増加。
 市内平均消費額も市内宿泊者の飲食費と土産代を除き、全項目で減少し、一人当たり総額で▲3,629円と大幅な減額となった。
 満足度に関する記述は、例年同様に「雰囲気が良い」「街並みがきれい」「食べ物がおいしい」という意見が多数であり、満足度も全体的に改善された。一方で「駐車場が遠い/混んでいる/少ない」「案内板・案内・パンフレット等がどこにあるのか分かりにくい」といった、不満も多く寄せられた。

《新型コロナウイルス感染症による影響の推測》

- 近郊からの来訪者が増加し、遠方からの来訪が減少。
- 少人数での来訪も増加し、大人数での来訪が減少。
- 日帰りが増加して宿泊が減少。(宿泊日数も1泊が増加し、2泊以上が減少。)
- 日帰り客の滞在時間も、全体的に短時間化。
- 平均観光地点数は、2.99箇所から2.90箇所に微減。(掲載項目外)
- 伊勢市以外に訪れた箇所も「なし」が過半数。(掲載項目外)
- 自家用車・バイクが増加し、不特定多数が利用する公共交通機関利用が減少。
- 10回以上訪問の方が増加し、選んだ理由としても「以前来て良かった」が過半数。
- 大半の項目で消費額が減少。
- 満足度の項目では全体的に改善。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で遠方から訪問しづらい雰囲気があるなか、近郊在住で当市への訪問歴があり、かつ伊勢に良いイメージを持っているコアなリピーターの来訪が目立つ結果となった。交通手段についても、ウイルス感染のリスク回避のため、不特定多数の利用者と長時間同じ空間で過ごすイメージのある公共交通機関を避けて、自家用車・バイクによる来訪が多くなったかと推測される。

宿泊利用及び宿泊日数、日帰り客の滞在時間のいずれも減少している。また、市内で立ち寄った観光地点数及び伊勢市以外に訪れた箇所も少なくなっているなど、観光行動を最小限に留めようという意図が伺える。結果、一人当たり市内消費額は、昨年より大幅な減額となった。